

令和5年度シラバス

診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生化学		講義	村上 明男	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
我々ヒト自身を理解する上でも、また診断・治療で使われている最新の医療技術を学ぶ上でも、欠くことのできない生化学の基礎知識を習得する。				
授業の到達目標				
人の体を構成する様々な生体物質のかたちと役割、栄養素の消化・吸収・代謝、生体エネルギーの産生、細胞・分子レベルでの生命現象、についての理解を深める。				
授業計画				
回	内容			
1	序 栄養素の消化・吸収・代謝			
2	生体の分子化学			
3	代謝の基礎と酵素			
4	ビタミン・ミネラル			
5	糖質とその代謝（1）			
6	糖質とその代謝（2）			
7	脂質とその代謝（1）			
8	脂質とその代謝（2）			
9	タンパク質とその代謝（1）			
10	タンパク質とその代謝（2）			
11	核酸・ヌクレオチド・遺伝			
12	ホメオスタシスを維持するための情報伝達			
13	水・電解質のホメオスタシスの維持			
14	疾患の生化学			
15	まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	人体を構成する生体物質とその基本的な役割についての理解度の評価		
レポート				
小テスト	20%	随時行う確認テストでの理解度の評価		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
生化学（看護学テキストNiCE）	石堂一巳	南江堂		
自由記載	必要に応じてプリントを配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
呼吸の科学 いのちを支える驚きのメカニズム	石田浩司	講談社		
14歳からの生物学 学校では教えてくれない<ヒト>の生物学	サリー・ヒル著	白水社		
自由記載				
備考				
生化学の教科書には幅広い内容が盛り込まれているので、苦手意識を持つことがあるかもしれません。しかし、ヒトの成り立ちを理解する上でも、診療・診断技術を深める上でも、欠かせない基礎知識の一つです。				